

# ミャンマーで非暴力を貫き

## 軍事政権への抗議活動を続ける

## 公務員が今、支援を

## 必要としています。



2月4日に発生したクーデター以降、軍事独裁政権を阻止しようと、国民が非暴力を徹底した抗議活動を続けています。

しかし、国軍や警察は実弾を使用し、平和なデモ活動をも徹底的に弾圧。180人を超える犠牲者と、2000人を超える逮捕者が出ています(3月16日時点)。そんな中で、公務員や医療関係者は抗議のためのストライキ=「CDM(市民的不服従運動)」を命懸けで続けています。ミャンマーの民主主義を取り戻すためには、彼らへの早急かつ中長期的な支援が鍵となります。

CDMは、国軍へ圧力を掛けるための有効な手段です。CDMを行う公務員が生活への心配をしないで済むように、生活費をサポートすることが出来ます。

### 今、できること

#### 「One-To-One CDM campaign」

1対1の「市民的不服従運動」支援キャンペーン



国軍への抗議を支援する「一本旗」を立てながら、武器を持たない市民が、武装した軍・警察に対峙しています。大学を中心とする学生、若者が、日々命を落としています。また、都市部のみならず、都市および地方の一般市民へも、賛同の呼びかけが伝えられ、賛同者が続々と続いています。

#### International Society of Myanmar Scholars & Professionals (ISMSP-MM)

国際ミャンマー学者・専門家協会 (ISMSP-MM) は、世界中の様々な地域のミャンマー人学者および専門家によって構成されています。

ISMSPの目的は、現在のミャンマーにおいて憲法を違反し成立した軍事政権による国民への人権侵害と闘い、民主主義と法の支配を取り戻すことです。私たちは皆、此方に裏打ちされた国軍によるミャンマーの物理的および政治的支配に反対しています。

#### 「One-To-One CDM キャンペーン」とは?

ISMSPが手掛けるCDM (市民的不服従運動) 支援運動で、公務員によるゼネラル・ストライキをサポートします。当キャンペーンは支援を必要とする公務員とサポーターの仲介を行い、各公務員に1ヶ月あたり10万MMK(約8000円)を3ヶ月分提供することを目的としています。

また、支援できる金額に制限はありません。当キャンペーンは資金の一切を受け取らず、支援を必要とする公務員に直接送金します。

現在、世界中で451人の公務員がサポーターと繋がりました。そして、500人以上の公務員が新たなサポーターを必要としています。

#### サポーターになる

1対1で公務員への支援を行うサポーターを募集しています。詳しくは右のQRコードから▶

または、下記アドレスまで「One-To-One CDM キャンペーン」のサポーターを希望する旨ご連絡ください。

ismspmyanmar@gmail.com



#### 手軽な寄付をする

少額からのご支援も受け付けています。BRCJ (日本ビルマ救援センター) を通じ、まとめてOne-To-One CDM キャンペーンへ送金いたします。BRCJは、50年以上に渡りミャンマー (ビルマ) の民主化・国境の難民支援活動を行ってきたNGO団体です。

りそら銀行 金沢支店 (普通) 655998 口座名 日本ビルマ救援センター  
※左記アドレスまでお名前とご住所をお知らせください。▶brcj@syd.odn.ne.jp  
ご希望の方は領収書をお送りいたします。



写真: 北角祐樹



International Society of Myanmar Scholars & Professionals



日本ビルマ救援センター



ミャンマー (ビルマ) の民主化を促進する 関西学生ネットワーク